

## 第8回江別市行政審議会 会議録（要点筆記）

日 時：平成25年8月19日（月） 18:30～19:40

場 所：江別市民会館 21号室

出席委員：押谷委員、河西委員、佐藤委員、梶野委員、徳永委員、藤本委員、町村委員、阿部委員、蛭名委員、白鳥委員、湯浅委員、岸本委員、草野委員、高儀委員 計14名（2名欠席）

事務局：鈴木企画政策部長、米倉企画政策部次長、千葉課長（政策調整課）、西田参事（総合計画担当）、村田主査（総合計画担当）、長谷川主任（総合計画担当）

### ■開会

### ■議事

#### （1）行政審議会 答申書（案）について

##### ○ 佐藤会長

まず鑑の文面について、何かご意見ありますでしょうか。

##### ○ 湯浅委員

下から6行目「『えべつ未来市民会議』の提言内容を真摯に受け止め、この提言を踏まえた本審議会での議論や意見について留意し」とありますが、パブリックコメントや市民説明会でいただいたご意見についても「本審議会での議論や意見」の中に含まれていると理解してよろしいでしょうか。

##### ○ 事務局

パブリックコメントや市民説明会でのご意見については、下から2行目の「本審議会の審議内容等」の部分に含めています。

##### ○ 湯浅委員

具体的なご意見がたくさん出ていましたので、大事にしていかなければならないと思います。

##### ○ 佐藤会長

他にご意見がなければ、鑑の文面はこの内容で了承とします。

1ページについてはいかがでしょうか。

##### ○ 河西委員

2の協働についての文章の下から2行目に「検討を行う組織や場（シンクタンクなど）」

とありますが、これまでの部会での審議やえべつ未来市民会議での議論から考えると、シンクタンクは「組織」のことであり、「場」の方は例えば観光の分野であれば観光の戦略会議のような、一時的なプロジェクトのようなものをイメージしていたと思います。したがって、「（シンクタンクなど）」の括弧書きの部分は「場」の後ではなく、「組織」の後に入れた方が適切だと考えます。

○ 佐藤会長

では「組織」の後に「（シンクタンクなど）」を記載することにします。

○ 白鳥委員

1 ページに図を入れたのはどのような意図でしょうか。

○ 事務局

行政審議会全体を通して、「協働」に関して非常に多くの議論がありましたことから、ここで今一度、行政審議会としての「協働」の概念を明示するため、目で見分ける図の形で答申（案）に盛り込んでいます。

○ 白鳥委員

この図は直した方がよいと思います。2の「協働」についての文章の内容を適切に表現できていないと思います。色々な「協働」があるということ表現しようとしたのでしょうか。

○ 事務局

白鳥委員のおっしゃるとおり、様々な「協働」があるということ表現しています。

○ 佐藤会長

この図については保留しておき、また後で議論することにして、まず文章表現について確認していきたいと思います。

○ 湯浅委員

1の5行目に「定期的な評価や評価内容に基づく改善等を実施するよう努められたい」とあり、これについてはパブリックコメントなどで市民の方からもご意見がありました。PDCAサイクルに基づいて進めていくという基本姿勢について、総合計画の中でどこかに謳われるのでしょうか。それが無いと、この答申の文章とつながらなくなります。

○ 事務局

計画素案本体の3ページ「I 基本的な考え方」で、PDCAサイクルにより継続的な向上をめざしていくことを明確に謳っておりますので、それを着実に進めていくようにというご意見として答申に盛り込んでいただきました。

○ 蛭名委員

3ページの「05 都市基盤」に対する答申意見について、現状ではJRとバスの接続が悪いと、それが解消されるとよいのではないかとというのが部会での議論でしたが、

この2行目では「バスの接続」となっており、JRのことについては記載されていません。

○ 高儀委員

「バスの接続をよくすることによって」とありますが、表現が曖昧です。バス同士の接続なのか、バスとJRの接続なのかが分かりません。我々が部会で議論した中では、駅周辺でJRとの接続をよくすると、もっとバスが利用されるようになるのではないかとこのことでした。表現を「他の交通機関との接続」とすることで、バスだけではなくJR等との接続も含んだ表現になると思います。

○ 佐藤会長

では2行目の「バスの接続をよくすることによって」を「他の交通機関との接続をよくすることによって」に変更したいと思います。

他にご意見が無いようですので、答申の文章についてはこれで全て了承ということにします。

最後に、もう一度1ページの図の議論に戻りたいと思います。確かにここに図が入ると「協働」の概念が分かりやすくなるとは思いますが、どのように取り扱うべきでしょうか。

○ 阿部委員

図によって、返って分かり難くなってしまっているように思います。図の中の「市民、自治会、市民活動団体、大学、企業、行政」の「協働」を表現した部分だけで分かると思います。円が3つも4つもあると、説明が難しくなると思いますので、我々でも説明しやすいような図の方がよいと思います。

○ 佐藤会長

図の左下の「協働」を囲んで「市民、自治会、市民活動団体、大学、企業、行政」といった主体があるということ表現した部分だけでよいのではないかとのご意見です。他の委員はいかがでしょうか。

○ 押谷委員

この図では、2つのことが表現されていると思います。1つは、左下の様々な主体が「協働」という概念。もう1つは、2つの大きな楕円の片方が「市民」でもう片方が「行政」となっており、その「市民」と「行政」が「協働」という2つの楕円が重なった領域の「協働」の概念です。「市民」と「行政」ができるだけ「協働」することによって、この重なった領域を大きくしていこうという意味もあります。これらの2つの趣旨を1つの図の中で表現しようとしているので、分かり難いのだと思います。

○ 河西委員

そもそも答申意見書に、説明がさらに必要となるような事柄を記載すべきでしょうか。えべつ未来戦略の中でも、「多様な主体が、それぞれの役割と責任を認識し、互いに尊重しながらそれぞれの得意分野や特性を活かし、協力して取り組む『協働のまちづくり』を確立する必要があります」ということが、戦略1の中に明確に書かれています。その

説明としてこの図が入っているのだと思いますが、そうすると答申意見書の中にこの図を掲載するのではなくて、むしろ、えべつ未来戦略そのものに掲載されていた方が分かりやすいと思います。ですから、答申意見書の中ではこの図は必ずしも必要ではないと思います。もし図を入れるのであれば、この図の説明もきちんと記述しなければ、答申意見書としては分かり難いものになってしまいます。

○ 岸本委員

計画素案の別冊の2ページにはこれによく似た図があります。計画素案に対する答申書ですから、その図をこの答申書の図に直すということになるのでしょうか。計画素案の図の方が分かりやすいと思います。それに、「協働」については、文章的な表現で説明してありますので、それで十分だと思います。

○ 白鳥委員

今回の答申書に関しては、図はなくても文章での記述で分かると思います。ただ、「多様な協働」のモチーフを示した方が分かりやすいことは確かですので、最終的に総合計画が確定して計画書の冊子を作成するときに、きちんと分かりやすく図示していただければよいと思います。それについては行政にお任せすることにして、答申書に関してはこの文章のみでよいと思います。

○ 佐藤会長

では、図はこの答申書からは削除することにします。

## (2) 「将来都市像」について

○ 白鳥委員

前回、「みんなでつくる未来都市 えべつ」と提案したつもりでしたが、「みんなでつくる未来 えべつ」もよいと思います。

○ 佐藤会長

「協働」が今回の行政審議会でも議論の中心になっていた重要なテーマですので、そういう意味では「みんなでつくる」という言葉はよいと思います。

○ 押谷委員

白鳥委員のご提案に関して、私も候補3はシンプルでよいと思いますが、「都市」という言葉を使うと、それに対する概念として「農村」のことが引っかけられますので、「まち」というような言葉を使った方がより広く捉えられてよいのではないのでしょうか。

○ 草野委員

押谷委員のおっしゃるように、「まち」という言葉に変えて「みんなでつくる未来のまち えべつ」としてはどうでしょうか。

○ 佐藤会長

将来都市像は、行政審議会が最終決定するのでしょうか。

○ 事務局

将来都市像については、5つの候補を挙げて市民の皆さまからご意見をいただきました。また、これまでの議論経過を踏まえて行政審議会でも審議していただいています。それらの結果を踏まえて、行政として将来都市像を最終決定することになりますが、行政審議会での審議結果については十分尊重させていただきます。

○ 佐藤会長

「みんなで作る未来 えべつ」と「みんなで作る未来のまち えべつ」の2つが候補に挙がっていますが、どちらがよいでしょうか。

○ 河西委員

候補3「みんなで作る未来 えべつ」だと、「未来」＝「えべつ」ということになり、少し落ち着かないのではないかと思います。「未来」の中には、まち全体のこともあれば、それぞれの市民の「未来」のことも含まれますので、それらをすべて含めて「江別」とは言えないと思います。そうしますと、「みんなで作る未来のまち えべつ」として、「未来のまち」＝「えべつ」であれば落ち着くのではないかと思います。

○ 佐藤会長

他にご意見がないようですので、「みんなで作る未来のまち えべつ」にしたいと思います。内容の文章については、会長一任とさせていただき、事務局と調整して作成しておきたいと思います。

### (3) その他

・ 答申書の手交：8月21日（水）18：30～ 本庁舎2階 市長公室にて

## ■閉会

○ 佐藤会長

以上で、第8回行政審議会を終了します。今年2月から7か月間、また、えべつ未来市民会議から関わってこられた方は約1年半という長期間にわたり議論を重ねてきました。答申書の手交にあたっては、市長に本気で取り組んでいただきたいということを申し上げたいと思います。また、多くの市民の方々の貴重なご意見が数多くありましたので、それらをしっかりと実現していただきたいと思っています。本当に長期間にわたりご審議ありがとうございました。